

平成 28 年度牧草類優良品種選定試験（イタリアンライグラス）

田中勝啓・齋藤武司

Selection test for excellent variety of grasses (Italian ryegrass)  
(2016. 4~2017. 3)

Katsuhiro TANAKA, Takeshi SAITO

要 約

イタリアンライグラス〔早生 6 品種〕を栽培し、それぞれの収量等について調査した。

その結果、乾物収量は 1 番草で「ゼロワン」が、2 番草で「タチュウカ」「ワセユタカ」が、1 番草 2 番草の合計では「ゼロワン」「ワセユタカ」が多収であった。「きららワセ」は「ナガハヒカリ」に比べ 1 番草の収量が多かった。また、「ワセユタカ」「きららワセ」は倒伏程度が高かった。

結 言

イタリアンライグラスについては数多くの品種（銘柄）の種子が一般に販売され、さらには毎年数種の新品種の種子も発売されており、自給飼料生産者は、その種子の選択に苦慮しているところである。そこで今回、「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」に基づき栽培収穫し、それぞれの収量等について調査した。

方 法

- 1 供試品種名  
早生：（全 8 品種）  
ゼロワン(LN-IR01)、タチュウカ(LN-IR02)、はやまき 18(JFIR-18)、うし想い(JFIR-20)、ワセユタカ、はたあおば
- 2 播種日：2015 年 11 月 4 日  
栽植様式：条播（畦間 30 cm）、播種量：150g/a(2 倍体)、250g/a(4 倍体)
- 3 1 区面積及び区制 1 区 6 m<sup>2</sup> (1.5m×4m)、4 反復乱塊法
- 4 施肥量：

肥料名	施肥日 月/日	施用量 (kg/a)	要素量 (kg/a)				方法
			N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	
苦土石灰	10/26	4				0.60	全面散布
堆厩肥	11/2	300	0.26	2.70	4.00		全面散布
尿素	11/4	1.16	0.54				側条施肥
基肥 合計			0.80	2.70	4.00	0.60	
NK2	4/12	4	0.64		0.64		側条施肥
追肥 合計			0.64		0.64		

## 結 果

### 1. 気象概要

気温：11 月、12 月は極めて高く、1 月から 5 月は比較的高温であった。

日照時間：11 月は極めて少なく、12 月、2 月、3 月は多く、1 月、4 月は少なかった

降水量：12 月は極めて多かった。

(図 1 参照)

### 2. 生育概要

どの品種においても、発芽、定着草勢は良かった。

品種名	概要
ゼロワン	収量は多かった。1 番草の収量が多かった。
タチユウカ	収量は多かった。2 番草の収量が多かった。
はやまき 18	収量は少なかった。
うし想い	収量は少なかった。
ワセユタカ	収量は多かった。2 番草の収量が多かった。倒伏程度が高かった。
はたあおば	標準品種
きららワセ	収量はナガハヒカリと同程度。1 番草の収量が多かった。倒伏程度が高かった。
ナガハヒカリ	標準品種

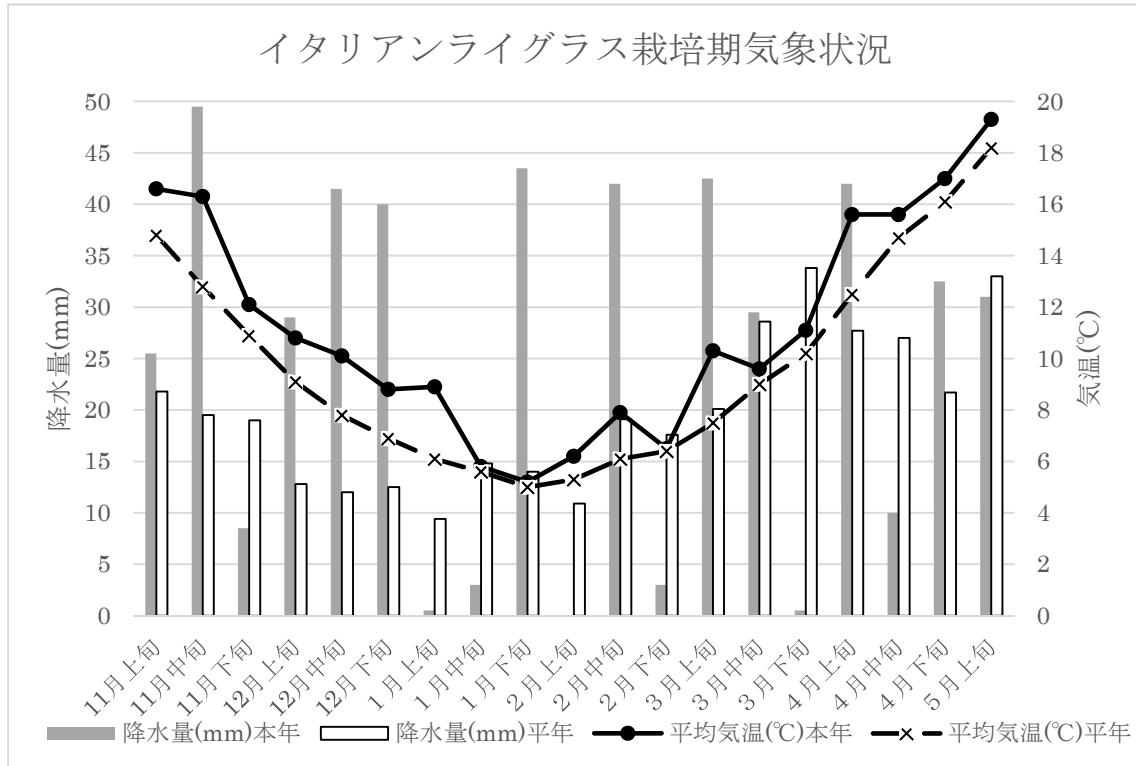
(表 1 参照)

## 総 評

今回の結果では、イタリアンライグラスの早生を作付する場合、乾物収量は 1 番草で「ゼロワン」が、2 番草で「タチユウカ」「ワセユタカ」が、1 番草 2 番草の合計では「ゼロワン」「ワセユタカ」が多収であった。「きららワセ」は「ナガハヒカリ」に比べ 1 番草の収量が多かった。また、「ワセユタカ」「きららワセ」は倒伏程度が高かった。

これらの成績をもとに、それぞれの作付け形態や給与形態に合った品種の選定をし、自給飼料の増産に努めてもらいたい。

図 1



平成 28 年度牧草類優良品種選定試験（イタリアンライグラス）

表 1

調査項目	発芽 良否	定着 草勢	出穂 始	収穫日		刈取時出穂 程度		倒伏程度		草丈 (cm)	
				1 番草	2 番草	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草
品種・系統	9 極良	9 極良				9 極多	9 極多	9 甚	9 甚		
ゼロワン	7.3	8.0	4/8	4/12	5/13	7.2	8.1	1.0	1.0	123.4	94.5
タチユウカ	7.5	8.0	4/8	4/12	5/13	7.2	9.0	1.0	1.0	106.0	97.6
はやまき 18	8.3	8.0	4/8	4/12	5/13	5.7	7.9	1.0	1.0	107.4	87.0
うし想い	7.5	8.0	4/8	4/12	5/13	6.8	9.0	1.0	1.0	108.4	96.6
ワセユタカ	8.0	8.0	4/7	4/12	5/13	6.7	7.7	2.5	1.2	116.9	100.1
はたあおば	8.3	8.0	4/7	4/12	5/13	6.7	9.0	1.0	1.0	109.9	92.5
きららワセ	8.8	8.0	4/9	4/19	5/17	7.6	7.0	4.1	1.1	133.7	84.2
カ <sup>h</sup> ハカ	8.5	8.0	4/10	4/19	5/17	3.2	4.5	2.5	1.0	116.9	85.1
CV (%)											

調査項目	生草収量 (kg/a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/a)		
	1 番草	2 番草	合計	1 番草	2 番草	平均	1 番草	2 番草	合計
品種・系統									
ゼロワン	437.1	276.0	713.1	18.8	14.4	16.6	82.2	39.7	122.0
タチユウカ	329.7	267.1	596.8	19.3	18.6	19.0	63.8	49.7	113.4
はやまき 18	397.6	266.7	664.3	17.9	13.7	15.8	71.3	36.5	107.8
うし想い	303.4	235.2	538.6	20.0	16.9	18.4	60.8	39.6	100.4
ワセユタカ	367.0	293.8	660.7	20.5	15.7	18.1	75.1	46.1	121.2
はたあおば	436.9	264.1	700.9	19.3	14.8	17.1	84.4	39.0	123.4
きららワセ	523.5	266.9	790.4	19.7	13.7	16.7	103.3	36.6	139.9
カ <sup>h</sup> ハカ	549.7	319.5	869.2	17.7	13.8	15.7	97.0	44.2	141.2
CV (%)	19.5	8.4	14.0				17.7	10.7	11.0